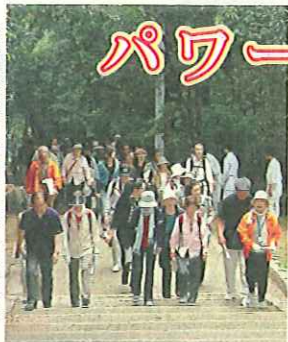


パワーを求めてはちまんさん探索

緑豊かな森林に囲まれた石清水八幡宮の参道



やわた観光ガイド協会は、石清水八幡宮に点在する「パワースポット」巡りを、5月21日に開催しました。

参加者65人は、1つ目のパワースポット「石清水八幡宮一ノ鳥居」を発着点に、ガイド協会員や石清水八幡宮の神職の案内で、八幡宮にある「ご利益ポイント」を探索しました。

ガイドは、三ノ鳥居付近に露出している「一ツ石」について「この石が走馬や競馬の出発点になっていたことから、勝負運などのご利益がある」と言われていますと説明。ほかにも、必勝のパワースポットを説明しました。



やわた観光ガイド協会員から「一ツ石」について説明を受ける参加者

「一ツ石」など9つのスポット散策

また参加者は、すべてのパワースポットが集まる八幡宮の本殿内で織田信長寄進と伝わる「黄金の櫓」などを見学。神職の説明に耳を傾けていました。

京都市右京区から参加した宇佐美弘子さんは「友人に誘われ参加したが、とても楽しかった。一日元気に過ごせました」と笑顔でした。



本殿で神職から説明を受ける参加者



土のうを半円状に積み、月の輪工法に励む八幡市消防団員たち

梅雨に備えて水防訓練

関係機関の連携や技術磨く

梅雨のシーズンを前に、淀川・木津川水防事務組合は5月14日、久御山町下津屋地元の木津川河川敷運動広場で水防訓練を行いました。

同組合は八幡、宇治、城陽、久御山の4市町の消防団や淀、向島の水防団で構成。この訓練は関係機関と連携し、水防工法の技術の腕を磨くことが目的です。

集中豪雨による河川の増水で、堤防の敷力所にわた

り漏水が発生しているとの想定。消防団員など約250人が集まり、土のうづくりや漏水対策などの水防工法に励みました。

消防団員たちは、堤防の決壊を防ぐ「積み土のう工法」や「月の輪工法」などを訓練。声を掛け合い、手順を確かめながら取り組んでいました。

ほかにも、陸上自衛隊の隊員による救援物資の輸送訓練もありました。

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。



ゴーヤの苗を丁寧に植える子どもたち

ゴーヤで緑のカーテン作ろう

日差しを和らげ室温下げる効果

見た目にも涼しげな「緑のカーテン」を作ろうと、5月18日に美濃山小学校の6年生127人がゴーヤの苗植えを行いました。

「緑のカーテン」は日差しを和らげることで、室内の温度を下げる効果がある環境にやさしいものです。同小では、子どもたちに環境問題や食育について学んでもらう

と、美濃山防犯パトロール隊やPTAの協力を借りて毎年実施しています。

子どもたちはスコップを使い、各教室のベランダに置かれたプランターにゴーヤの苗を2本ずつ、全部で416本を植えました。

今後は、子どもたち全員が水やりをしてゴーヤの成長を見守ります。夏には、南側校舎2・4階全面がゴーヤの実や葉で覆われます。実は収穫して学校給食で出すほか、子どもたちが持ち帰りま

親子で楽しく木工教室

5月5日「こども祭り」

ゴールデンウィーク恒例の「こども祭り」が5月5日、四季彩館で行われました。会場では、親子木工教室やシャボン玉などで遊ぶコーナーもあり、家族連れでにぎわいました。

同館主催のイベントも今年で9回目。親子で楽しい思い出をつくってもらおうと催しています。

親子木工教室には約40組の親子が参加。親子らは本立てや小物入れなど4種類の中

から1つを選び、作業を始めました。

道具や木材はあらかじめNPO法人「とんかち」のメンバーが用意。親子らはメンバーの助けを借りながら、キリやノコギリを使い、1時間ほどで作品を完成させました。

本立て作りに挑戦した嶋田 希希くん(7)は「100点満点の出来。本が大好きなので、この本立てにいっぱい入れたいな」と大喜びでした。



協力しながら本立てを作製する親子連れ